

香川県高松市で第4回日仏自治体交流会議を開催 ～日本・フランス自治体間交流の深化～

(一財)自治体国際化協会交流支援部交流親善課

日仏交流150周年を記念し、フランス・ナンシー市および金沢市（ナンシー市との姉妹都市提携市）の呼びかけにより始まった「日仏自治体交流会議」。姉妹都市などの関係を有する日仏双方の自治体の首長などが一堂に会するこの会議は、1対1の自治体間交流の枠組みを超えた多面的な自治体交流のモデルを発信してきました。これまでに2008年10月にフランス・ナンシー市、2010年5月に石川県金沢市、2012年8月にフランス・シャルトル市と日仏双方で2年ごとに開催されています。

本年、10月28日から30日、香川県高松市において第4回会議が開催され、日本からは28自治体、フランスからは17自治体が一挙に会し、「グローバル時代において、地域経済の活性化を図るために自治体は何をなすべきか」をテーマに熱心な議論が交わされました。

はじめに

第4回日仏自治体交流会議は、四国の政治経済の中心都市であり風光明媚な高松市において、かがわ国際会議場、サンポートホール高松などを会場として、10月28日から30日にかけて開催され熱心な議論が行われました。

全体会と分科会で 日仏の共通課題、取り組みを発表

10月29日、開会式に引き続き全体会が行われ、はじめに、基調講演として、公益財団法人福武財団 団理事長の福武總一郎氏が「現代美術による過疎地の再生論」と題して、香川県の直島での取り組み

会議テーマ 『グローバル時代において、地域経済の活性化を図るために自治体は何をなすべきか』	
全 開 会 式 ・ 閉 会 式	【基調講演】・公益財団法人福武財団 福武總一郎理事長
	【基調発表】・フランス都市連合（CUF）ベルトラン・ガレ事務総長 ・つくば市 岡田久司副市長 ・ナンシー市 ジャン=ミシェル・ベールモン助役 ・倉敷市 伊東香織市長
分 科 会	第1分科会：産業「農業、工業、商業、観光など産業分野全般における活性化への取り組み」 (日) 富岡市、甲州市、岐阜県、津市、大阪府、兵庫県、神戸市、桜井市、倉敷市 (仏) オ・ラン県、ヴァルドワーズ県、アヴェロン県、トゥール市、エクサンプロヴァンス市
	第2分科会：文化「文化や人的交流を通じた地域経済活性化への取り組み」 (日) 金沢市、福井市、忍野村、鈴鹿市、彦根市、豊岡市、朝来市、神崎市、長崎市、熊本市 (仏) オータン市、ナンシー市、シャルネ・レ・マコン市、ル・マン市、ノール県、マラコフ市、ボークール市
	第3分科会：都市開発「都市交通、環境、エネルギーなど都市の持続可能な開発への取り組み」 (日) 仙台市、松島町、白河市、つくば市、川越市、市川市、新潟市、飯田市、高松市 (仏) コンピエーニュ市、グルノーブル市、イッシー・レ・ムリノー市、セヌ・エ・マルヌ県、シャルトル市
全 体 会 ・ 開 会 式	【分科会報告】 ○第1分科会：富岡市 岩井賢太郎市長、ヴァルドワーズ県 フランソワ・セリエ副議長 ○第2分科会：豊岡市 中貝宗治市長、ノール県 フィリップ・レティ副議長 ○第3分科会：飯田市 牧野光朗市長、コンピエーニュ市 アリエル・フランソワ助役
	【会議総括】・シャルトル市 パトリック・ジェルデ助役
	【高松宣言採択】・高松市 大西秀人市長
	【日仏交流優良賞】 新潟市、ナント市



全体会議での基調発表

みを紹介しました。

続いて、基調発表が行われ、フランス都市連合のガレ事務総長、つくば市の岡田副市长、ナンシー市のベールモン助役、倉敷市の伊東市長がそれぞれ発表しました。

午後からは、次の3つの分科会に分かれ、各自治体より取り組みの発表と議論が行われました。

【産業】

自治体は、企業と行動をともにし、人材育成や企業にとって望ましい活動環境を整備し、観光・文化・地域のアイデンティティを確立することが求められていることを確認しました。

【文化】

経済活性化の手段として、それぞれの文化の魅力を発信することの重要性を確認し、本会議の枠組みにおいて、文化を通じた取り組みにかかる情報共有を図ることの意義を確認しました。

【都市開発】

持続可能でスマートな都市づくりの課題のヒントと経験を自治体レベルでの横の連携によって今



各分科会における事例発表と意見交換

後とも共有していく重要性を確認しました。

「日仏自治体交流会議高松宣言」の採択、次回はトゥール市で開催

翌30日の全体会において、「第4回日仏自治体交流会議 高松宣言」案を高松市長が読み上げ、全会一致で採択されました。

高松宣言では、情報の共有や対話を継続的に行うため、ベストプラクティス情報を恒常的に共有できる取り組みを推進するとともに、人的交流をさらに活性化していく取り組みを進めることに合意しました。また、会議の継続的な開催を再度確認し、2年後の2016年にフランスのトゥール市で開催することに合意しました。

「日仏交流優良賞」

最後に、日仏両国の友好関係発展に資するため、持続可能な発展の観点から特に優れた協働・協力事業の取り組みを顕彰する「日仏交流優良賞」の授与があり、文化交流をはじめ多方面における交流を積極的に展開するとともに、市民レベルにおいても活発な交流を行っている新潟市とナント市が表彰されました。

第4回日仏自治体交流会議を終えて ～日仏自治体交流の一層の発展を～

今回の会議では、産業施策や文化振興に加え、都市開発に関しても幅広く意見交換が行われました。このように、異なる言語、異なる文化を有する両国が自治体単位でお互いを理解し、取り組みや経験を共有し、協力、信頼関係を築くことは、大変意義深いことです。

クレアでは、日仏自治体交流会議をはじめ、これからも日本と海外の自治体交流をサポートする事業を推進していきます。

第5回日仏自治体交流会議は、2016年に、フランス・トゥール市で開催される予定です。

日本とフランスの自治体が一堂に会し、グローバルな課題について多角的に議論する貴重な場となります。会議内容や参加に関するお問い合わせは、クレア交流親善課までお願いします。

電話：03-5213-1723 電子メール：shimai@clair.or.jp